

おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2019. 6. 25 No.11

第一回学校運営協議会開かれる(5/23)

一中校区CSが正式にスタートしました。

この組織の目的は、校区の小・中学校とその保護者、地域住民が信頼関係を深め、一緒に児童生徒の健全育成を進めることです。これまでも学校は、授業や行事、環境整備などで地域の方々のご支援をいただいてきましたが、ステップアップして「一緒につくる地域の学校」をめざします。

一中校区CSには「まなび」「あんしん」「ふれあい」の3応援団があります。今後、各団で具体的な活動について話し合っていきます。

協議内容や活動の様子は、一中のホームページをご覧ください。



中学生の職場体験(5/21~24)

毎年恒例の中学2年生による職場体験学習「ワクワク境港」が行われ、プロの指導を受けながら仕事を体験したり、仕事に携わる思いを聞いたりして、有意義な体験をしました。

「ワクワク境港」が始まってから20年。今では、学校と地域が一体となって生徒を育てる取り組みとして定着しています。

今後、「命をはぐくむ」という当初の理念を確かに受け継ぎ、生徒が地域の人々との触れ合いを通して、正しい職業観を身につけ、確かな未来を築けるよう、応援していきたいと思いました。

※「ワクワク境港」とは？

1997(平成9)年に起きた連続児童殺傷事件を教訓に「心の教育」の充実をめざして兵庫県が始めた「トライやる・ウィーク」がもと。境港市で始まったのは1999(平成11)年で、当時は6月~7月であった。(参考:境一中沿革史)



えびくる(旧くれぱす)



元町病院



海とくらしの史料館



土井商店

一中2年生の「魚さばき実習」(6/11, 12)

12日は、2組の生徒が上道食生活改善委員の方々の指導を受けてアジの三枚おろしに挑戦。初めは慎重だった子どもも少しずつ上達、「うまくできたね!」と言われて微笑んでいました。中にはプロ顔負け?の腕前の子も。今回のアジは後日の調理実習でハンバーグにし「自分でさばいたアジを味わう」そうです。

今年は説明を短くして挑戦の時間を増やしたせいか、予定より随分早く終わったとか。生徒のもつ力を改めて実感しました。



今こそ「安心・安全」を

川崎市で起きた痛ましい事件で、尊い命が奪われました。「私たちの身のまわりは大丈夫?」多くの皆さんが不安に思われたことでしょう。子どもたちにとって安心・安全な環境づくりは、すべての人の思いです。

一中校区CSには「あんしん応援団」という組織があります。今回の事件を機に、見守り体制の充実など、できる事から取り組みたいものです。